

友情

「無限の彼方へ、さあ行くぞ！」颯爽と現れたバズ・ライトイヤー役の高校3年生の太郎青年。文化祭の劇でトイストーリー（ピクサーのアニメ、おもちゃの世界の話）をクラスで創りました。ウッディ役は同じクラスの人気者のけんちゃんが演じることになりました。バズ・ライトイヤーは主役なので、セリフを覚えるのが大変だ！と思い、台本を読むと「おもちゃではない、スペースレンジャーだ！」「私は、バズ・ライトイヤーだ！」という自己紹介がほとんどで、一瞬で覚えられました。衣装も手作りで発泡スチロールを湾曲させて、京大志望のエリートが作ってくれました。劇で面白い要素や、ダンス、一生懸命全員で考えて劇を完成させました。クラスメイト全員が出演して最高の劇になりました。

その後、私は高校を卒業して1年間勉強をして大学合格を目指していた時期があり、大学入試を控えた1週間前にウッディ役のけんちゃんから手紙が届きました。

その手紙にはずっと心配して応援してくれていたことが書かれていました。その手紙を読んで感動し、また、勉強を頑張れました。無事に合格でき本当にありがたかったです。

そして広島大学に入学し、大学四年生の冬に就職するか、進学するか進路を悩んでいました。すると遥々大阪からトイストーリーでミスターポテトヘッド役だった友達が急に駆けつけてくれました。大阪から、広島は4時間かかるのに。そこで彼は言いました「太郎が進路を決めるまで、ここに残って話をする！」と言って朝まで話を聞いてくれました。そして、先生という道を志したきっかけになりました。今でも繋がりが大切な友達です。

「相互理解」が月間目標の10月が終わりました。11月は「友情」です。

体育大会では、どのクラスもお互いの事を理解して、その上で言葉掛けや、応援や競技を終えてクラスに戻って来てからの労い、思いやり温かい笑顔で溢れていました。お互いをより理解して、クラスメイトと深く繋がり次は合唱コンクールへと向かって欲しいと思います。

相手の言動で自分の感情が揺さぶられた時、感動した時、クラスメイトと友情が芽生えるのだと思います。友情を育むには自分の出来ることを相手に与えていけるかだと思います。それは、優しさでもいいし、笑わせることでも、勉強を教えることでも、寄り添うことでもなんでもいいと思います。

一緒に笑い、泣き、喜び感情を交わらせて、残り5ヶ月で今のクラス、クラスメイトと最高の毎日を大事に過ごしていきましょう。

